

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
三菱UFJリース株式会社
取締役社長 白石 正
(コード番号 8593 東証・名証第1部)

お問合せ先

広報IR部長 村上 圭

TEL 03-6865-3002

三菱UFJリース エネルギー関連事業のアセットマネジメント事業子会社を設立

三菱UFJリース（以下「MUL」）は、太陽光発電の関連資産を専門に取り扱う子会社MUL エナジーインベストメント株式会社（以下「MEI」）を設立し、同社を通じて再生可能エネルギー関連のアセットマネジメント事業（以下「AM 事業」）に本格参入いたします。

太陽光発電分野は、2012年7月の再生可能エネルギーを対象とした固定価格買取制度（FIT）の開始より急成長しているマーケットですが、今後はFITの買取価格の引き下げに伴い、新規の太陽光発電事業はピークアウトが予想されます。一方で、将来的には再生可能エネルギー事業で先行する欧州のように、稼働済発電サイトのメンテナンスや評価、資産の運営管理や売電事業のセカンダリー市場での売買など、AM事業に対するニーズの拡大が見込まれています。

こうした需要を取り込むべく、MEIはMULの1,000億円を超える太陽光発電用リース資産の積み上げを通じて培った高度な専門ノウハウや多様なエネルギー関連企業とのネットワークを活かし、MULが保有する太陽光発電用リース資産や発電事業者が保有する太陽光発電資産の運営管理から、発電事業の取得・売買・仲介、更には再生可能エネルギー事業を対象とするファンド組成と運営まで、再生可能エネルギー分野でトータルソリューションを提供してまいります。

MEIの概要

- 1) 商号：MULエナジーインベストメント株式会社
- 2) 会社設立：2015年10月15日
- 3) 所在地：東京都千代田区丸の内
- 4) 資本金：1億5千万円
- 5) 株主：三菱UFJリース 100%
- 6) 事業内容：エネルギー関連のAM事業、エネルギー事業の取得・運営・仲介等

MEIでは、当面は発電事業者向けのアセットマネジメントサービスの提供や太陽光発電事業の買い取りを進め、2018年3月までに数百億円規模のAM事業の管理資産を目指します。また、来年を目処にエネルギーファンドの組成を行うファンド事業を立ち上げるほか、将来的には他のエネルギー・インフラ分野へのサービス拡大を予定しています。

中期経営計画“Evolution（限りなき進化）”について

三菱UFJリースグループでは、2014年度からスタートした中期経営計画“Evolution（限りなき進化）”の成長戦略の柱の一つとして「ビジネスモデルの進化」を掲げております。

MULはこれまで、「モノ」の特性や「事業性」に着目しながら、リースやファイナンスなどの主業に付加価値をつけた ESCO 事業や資産管理サービスの“e-Leasing Direct”など、専門性の高いサービスを提供してまいりました。

これらはファイナンスに付随したサービスでしたが、中期経営計画で目指す「ビジネスモデルの進化」では、これまで培ってきた様々な知見をもとに、MULが高い専門性を持つ分野においてビジネスモデルを更に進化・発展させ、「金融と事業を融合した新しいビジネス」を積極的に推し進めることで、事業機会の拡大を目指しています。

MEIの設立はその第一弾の位置づけであり、今後も環境・エネルギー分野のほか、医療・介護分野や不動産など、MULが豊富な知見を有する事業分野において「ビジネスモデルの進化」を展開してまいります。

以上